

### 3年・5年・8年、長期にわたり休職・復職を繰り返すメンタル不調者の方々。当社の個別プログラムを通じ、社外転進による社会復帰を実現。

メンタルヘルス不調者の課題は、いまや全ての企業が直面している課題といっても過言ではありません。EAPサービス業者によるカウンセリングプログラムや予防策の充実、医療機関の増加など、社会全体のメンタルヘルス不調者を支える環境は徐々に強化されているものの、企業はその恩恵をほとんど実感できずにいるのが現状とも言われます。当社は独自の「トライワーク」というカウンセリングプログラムを通じ、真の課題解決を提供しております。

#### ■G社が抱えていた課題: 休職・復職を繰り返すメンタル不調者

G社は、従業員の大半がプログラミングに従事するゲームソフト開発メーカー。職種特性として、一般企業よりも早くから、メンタルヘルスの問題に直面しておりました。半ばメンタルヘルス不調により退職されるケースも過去より多く、相当数の休職者も常に在籍される状態でした。

休職前は、プログラマーとして不眠不休のゲーム開発に従事されてこられたメンタル不調者の方々。復調し、職場に復帰しても数多くの方がまた不調に陥ってしまう。

会社としても医師のアドバイスに従う以上に何もできないまま、数多くの従業員が、休職・復職を繰り返す姿をただ見守っているだけの期間が続いてしまう。このような状態を「少しでも改善したい」というのが、当社へのご依頼事項でございました。

#### ■職場復帰を目指す

担当医師の承認のもと、産業カウンセラー資格者によるカウンセリングによるメンタルケアを開始、まずは仕事に復帰するための慣らしをサポートします。

いわゆる「リワーク(職場復帰)プログラム」として、働く環境への順応として、擬似職場(当社施設)への出勤、デスクワークの実施、周囲とのコミュニケーションなどを行い、職場・働くことへの慣らし運転を行ったうえで、本当の職場復帰を支えます。しかし、職場それ自体が、メンタル不調の原因である場合、リワークは問題の解決につながりません。

#### ■真の社会復帰を目指す(トライワーク)

納期に向けた極めてタイトな期間、チームでプログラムを開発する。G社の職場は強い責任感が常に求められる職場です。

「職場には復帰したい」

「しかし、過去、不調が発生し、職場の皆に迷惑をかけてしまった」

「また迷惑をかけるのではないか」

「自分の技術は通用しないのではないか。馬鹿にされるのではないか」

この企業では、メンタル不調者の多くの方にとって「職場復帰」そのものが多大なストレス要因となっていることが明確でした。

「単なる職場復帰を目指していても問題は解決しない」「本当に目指すべきは社会復帰」であることを企業・ご家族とも協議の上、復職ではなく「転職」による社会復帰プログラム(トライワーク)を開始しました。

#### 綿密に設計された支援プログラム

復職サポートプラン(1ヶ月分)

※月1回、専任サポートケースワーカーと1対1でセッションを実施します。

	月	火	水	木	金
1週目	10:00-12:00 メンタルケア		10:00-12:00 メンタルケア		10:00-12:00 メンタルケア
2週目	10:00-12:00 メンタルケア	13:00-15:00 メンタルケア		10:00-12:00 メンタルケア	10:00-12:00 メンタルケア
3週目	10:00-12:00 メンタルケア	10:00-12:00 メンタルケア	13:00-15:00 メンタルケア		10:00-12:00 メンタルケア
4週目	10:00-12:00 メンタルケア		10:00-12:00 メンタルケア	13:00-15:00 メンタルケア	10:00-12:00 メンタルケア

※10:00-12:00はメンタルケアセッション、13:00-15:00はメンタルケアセッション

#### ■転職・キャリアチェンジで社会に復帰する

対象者お一人お一人とのカウンセリングを通じ、新たなキャリアへの希望・意欲を確認し、二人三脚での転職活動をスタートします。社外を目指すと決断してから最短で3ヶ月、長い方で1年後に転職先が決定。G社を退職し全く異なる業界で皆さんが新たなキャリアをスタートされました。